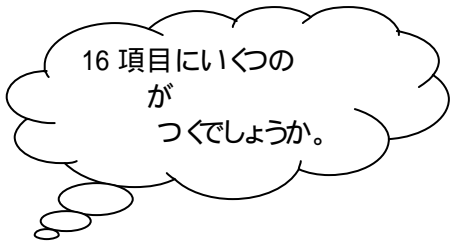


NPO 法人のみなさん！提出計算書類作成をしながら
右枠にチェックをしてみましょう。



ご存知でしたか提出計算書類のツボ

提出 計算 書類	1 財産目録	
	2 貸借対照表	
	3 収支計算書	
財産 目録	4 一定時点（決算期末日＝年度末日）における NPO 法人の財産状態の明細を記載する書類ですので年度末年月日を書きます	
	5 資産は流動資産と固定資産とに分けて書きます	
	6 資産の部（プラスの財産）について、流動資産の項目の一つの普通預金では銀行名、支店名を書きます	
	7 負債の部（マイナスの財産＝返済しなくてはならない）について流動負債の項目の一つの借入金では銀行名、支店名を書きます	
	8 7の場合、借入の相手が個人の場合には個人名ではなく肩書き程度の表現で誰からいくら借りたのかを書きます	
貸借 対照 表	9 一定時点（決算期末日＝年度末日）における NPO 法人の財産状態を示す書類ですので年度末年月日を書きます	
	10 資産の合計＝負債の合計＋正味財産の合計になります	
収支 計算 書	11 年度初日（期首）から年度末日（期末）までの期間の収入と支出・財産の状態を示す書類ですので、「年月日から年月日まで」と書きます（期首から期末まで）	
	12 経常収入の部について、すべての事業収入金額をまとめた数字で書かないで事業ごとに分けて収入金額を書きます	事業収入 × × × 事業収入 × × ×
	13 経常支出の部について、すべての事業費支出金額をまとめた数字で書かないで事業費ごとに分けて支出金額を書きます	事業費 × × × 事業費 × × ×
	14 事業ごとに分けた事業支出についての内訳を科目ごとに書きます	事業費 旅費交通費 × × × 通信運搬費 × × × 事業費 旅費交通費 × × × 通信運搬費 × × ×
	15 経常支出の部について、すべての管理費支出金額をまとめた数字で書かないで科目ごとに分けて書きます	旅費交通費 × × × 通信運搬費 × × ×
	16 2期目以降の法人の方は昨年度の決算書類に書かれている繰越金額を今年度の収支計算書の前期繰越収支差額に書きます 前期末の次期繰越収支差額＝当期の前期繰越収支差額	